

クラミジア (Chlamydia)

クラミジアは非常に多く見られる細菌（バクテリア）性の STI（性感染症）で、コンドームその他の防護具を使わないセックスの最中に感染する可能性があります。

重要ポイント

- クラミジアは子宮頸部、尿道、肛門、喉、そして目に感染する可能性があります
- クラミジア感染者の大半は無症状です
- クラミジアは、抗生物質により効果的に治療することができます

クラミジアとは？ (What is this?)

クラミジアは、よく見られる細菌性の性感染症です。

膣がある人は、クラミジアが子宮頸部や肛門、喉、あるいは時として目の感染症を引き起こし得ます。

ペニスがある人は、クラミジアが尿道や肛門、喉、あるいは時として目の感染症を引き起こし得ます。

クラミジアにはどのようにして感染するのか (How do you get it?)

クラミジアには、クラミジア感染者との膣性交やアナルセックス、オーラルセックスにより感染する可能性があります。

コンドームやダム（薄いビニール状の防護シート）を使うことで、クラミジアに感染するリスクを抑えることができます。

クラミジアの症状 (What are the symptoms?)

クラミジア感染者の大半は、無症状です。

膣 (Vagina)

膣がある人は、つぎのような症状が現れるかもしれません：

- おりもの変化
- 不正出血（特にセックスの後で）
- 下腹部・性器周辺の部位の痛み（性交中の痛みを含む）
- 排尿時の刺すような痛みや灼熱感

ペニス (Penis)

ペニスがある人は、つぎのような症状が現れるかもしれません：

- ペニス先端の開口部の赤み
- 排尿時の刺すような痛みや灼熱感
- ペニスからの分泌物（大抵の場合は無色）
- 睾丸の痛みや腫れ

肛門 (Anus)

肛門からの分泌物や出血、または肛門の痛みが現れるかもしれません。

クラミジアの検査方法 (How do you test for it?)

クラミジアの検査は検尿か、スワブによる子宮頸部または膣、喉、肛門からのサンプル採取により行われます。

クラミジアの治療法 (How is it treated?)

クラミジアは抗生物質により効果的に治療することができますが、合併症が疑われるときは、より長期的な治療が行われます。

症状が出ている場合でも、通常は治療を始めてから 2～3 日後には症状が治まり始めます。

治療を始めて 1 週間経っても症状が残っているときは、医師に再診してもらいましょう。

治療しなかった場合の合併症 (Are there any complications if not treated?)

膣がある人は、クラミジアを治療せずにいると、子宮や卵管の感染症である骨盤内炎症性疾患（Pelvic Inflammatory Disease : PID）を発症するおそれがあります。PID は、不妊症にもつながりかねません。

ペニスがある人は、クラミジアを治療せずにいると、不妊症につながる恐れがあります。

- i** 骨盤内炎症性疾患（PID）についての詳細情報は、StaySTIFree のウェブサイト (staystifree.org.au) で確認してください。

治療後の再発の可能性 (Is it likely to come back after treatment?)

クラミジアへの再感染や、誰か他の人にうつしてしまうことを避けるために、つぎの点に注意しましょう：

- 治療を始めてから1週間経つまでは、性的な接触はどんなものでも控えましょう。この期間中は、コンドームやダム（防護シート）を使ったセックスもしてはいけません。
- また、パートナーが治療を受け始めてから1週間経つまでは、そのパートナーとセックスをしてはいけません。
- これはつまり、パートナーが自分より後に治療を受ける場合は、パートナーが治療を始めてから1週間経つまではセックスをしてはいけないということです。これを守らないと、あなたも再感染してしまい、再び治療が必要になってしまいます。

肛門クラミジアの治療時には、治療から1ヵ月後に再検査を、その他の種類のクラミジアの治療では、治療から3ヵ月後に再検査を受けることが推奨されています。

自分を守るために (How can I protect myself?)

クラミジアに再感染しないようにするための一番の防御策は、つぎの通りです：

- 自分がクラミジアに感染したことを、自らの性的なパートナー（複数いる場合は複数）に通知する
- 自分の現在の性的なパートナーも必ずクラミジアの治療を受けるようにする
- 将来的なパートナーとはそれが誰であっても、コンドームその他の防護具を使用する

パートナーに知らせましょう (Let them know)

このように STI（性感染症）の診断を受けたときは、過去 2～3 ヶ月の期間のあなたの性的なパートナー全員が、医師による検査を受けるべきです。

STI を治療せずに放置すると、将来深刻な問題を引き起こしてしまう可能性があるため、あなたの性的なパートナー全員（決まった相手もカジュアルな相手も含む）が検査を受けることが非常に重要です。

パートナーに感染の事実を伝えるのが難しい場合は、Let Them Know [パートナーに知らせましょう] (letthemknow.org.au) というサービスが提供している資料を参考にしてください。ここではパートナーにあなた自身の名前を出して個人的に、または匿名で送ったりやり取りすることができる会話や Eメール、SMS（ショートメール）、手紙のサンプル集が用意されています。

支援を得られる場所 (Where can I get help?)

- 最寄りの性健康・性感染症サービス機関に行く
- お住いの地域の医師に診てもら
- お住まいの地域のコミュニティ医療センターに行く

StaySTIFree [STI に感染しないために] のウェブサイト (staystifree.org.au) で、性健康・性感染症サービス機関を探してみましょう。

免責事項 (DISCLAIMER)

このファクトシートは一般的な性健康についての情報を提供するものであり、あなたの医師への相談やその医師による診療の必要性を代替する目的で作成されたものではありません。

自身の健康に不安や懸念がある場合は、あなたの医師に相談してください。

緊急の治療やケアを要する場合は、最寄りの救急科に行くか、000 番（救急）に電話通報してください。